

国語	領域	内容	評価規準	通し 番号	市 通過率	県 通過率	観点
小5	言語事項	3・4年 (1)エ(イ)	・国語辞典を利用して調べる方法を理解している。	6)	32.8	28.5	言語事項
小5	言語事項	3・4年 (1)ウ(ア)	・修飾・被修飾の関係を理解している。	8)	49.6	33.5	言語事項

4 次の文の「こえる」という言葉の意味について、国語辞典を使って調べました。この場合の意味として、もっともふさわしいものを、ア～エから一つ選んで□の中に記号を書きなさい。

・あの人ならこの苦難を簡単にこえることができるはずだ。

ア 障害物や境界線の上を通り過ぎること。

(例)「海をこえて外国へ行く」

イ ある基準の数値以上になること。

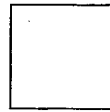
(例)「ついに限界をこえる」

ウ 肉付きがよくなり丸みがでてくること。

(例)「あの犬は最近こえてきた」

エ 経験を積んで、よい悪いがわかるようになること。

(例)「彼は大変目がこえている」



6)

6 次の文の「子どもたちに」は、どの言葉をくわしくしていますか。ア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア 世界中の  
イ 地球の  
ウ すばらしさを  
エ 伝えたい。

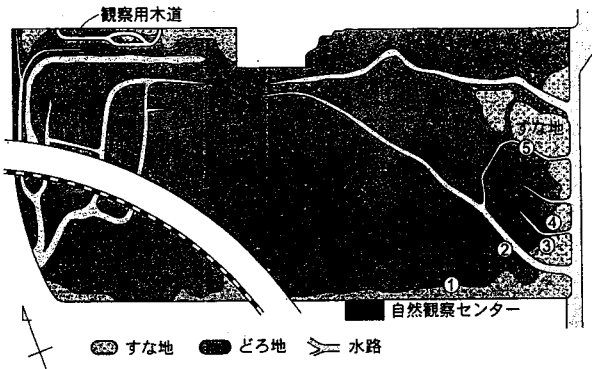


8)

国語	領域	内容	評価規準	通し番号	市通過率	県通過率	観点
小5	読むこと	5・6年イ	・段落の内容を的確にとらえて読んでいる。	13)	49.0	45.0	読むこと

二 次の文章を読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。(1)～(17)の番号は、段落番号です。

- ① 東京湾のおくに、谷津干潟と呼ばれる小さな干潟があります。一日に二回、海水が満ちたり引いたりする自然の海です。昔、東京湾には大きな干潟が広がっていましたが、そのほとんどがうめ立てられてしまい、ここだけが生き残っているのです。
- ② 谷津干潟には、一年じゅう、たくさんのわたり鳥が飛んできて、歩き回ったり、えさを食べたり、休んだりしています。特に三月から五月、九月から十一月には、たくさんしぎや千鳥が見られ、多い日には約二千羽を数えることができます。どうして谷津干潟には、こんなに多くのわたり鳥が集まってくるのでしょうか。
- ③ 五月の終わり、しぎや千鳥はみんな北へ飛んでいってしまいい、干潟は広々とした感じになります。どろの上には、あなから出てきたヤマトオサガニたちがずらりとならんで、陽光に照らされています。
- ④ 干潟のすなやどろの中には、ヤマトオサガニをはじめ、いろいろな生き物がすんでいます。ここにわたり鳥が多く集まってくるのは、えさとなる小さな生き物が数多く生息しているからです。
- ⑤ この生き物たちの多くは、すなやどろにもぐったり、その表面をはい回ったりして生活しています。みんな体が小さく、色もすなやどろと似ているので、岸边から観察することはできません。そこで、わたしは友人と、干潟に下りて調査してみることになりました。
- ⑦ わたしたちは、変化のある干潟の東側を歩き、すな地・ど



- ろ地・水路ぎわなど五つの場所を選んで、観察していきます。
- ⑧ 最初の地点①は、谷津干潟の南側、てい防のすぐ下のすな地です。表面に小さなあながいっぱい開いていて、周りにはすなだんごが転がっていました。ほつたすなをふるいにかけるとコメツキガニとこかいが見つかりました。コメツキガニは、甲のはば一センチメートルほどのちいさなかにです。せなかはすなと同じようないろで、腹はあざやかなむらさき色をしています。
- ⑨ すな地の表面にちらばっているすなだんごは、このかにがすなを食べたあとのかすです。コメツキガニは、表面のすなを口に入れ、えさになるものだけを食べてしまうと、残りはすなだんごにして巣あなの周りにばらまきます。
- ⑩ 次にいった②の地点は、潮の引いた水路ぎわで、どろ地でも水はけのよい所です。
- ⑪ 水路ぎわをほり、ふるいにかけて、こかいがたくさん見つかりました。その一つ、アシナガゴカイは五、六センチメートルの長さです。体の後ろのいぼ足の部分が長く伸びて、先がとがっているのが特徴です。ダイゼンやメダイチドリなどが、このアシナガゴカイを喜んで食べます。
- ⑫ 次の場所へ行くとき、すなやどろのすな地や、どろ地が魚の死がいや群がっていました。数えてみると、百五十匹ほどいます。やどかりは、干潟で魚や貝の死がいを見つけたら、集まってくるので、たちまちのうちに、食べてきれいにしています。

- 4 この文章の内容に当てはまらないものはどれですか。次のア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。
- ア 同じ干潟でも場所によって生き物の種類は違う。  
 イ 生き物は干潟の中において、表面では見られない。  
 ウ ③の場所へ行くとちゆう、やどかりを見つけた。  
 エ 東京湾の干潟はそのほとんどがうめ立てられた。

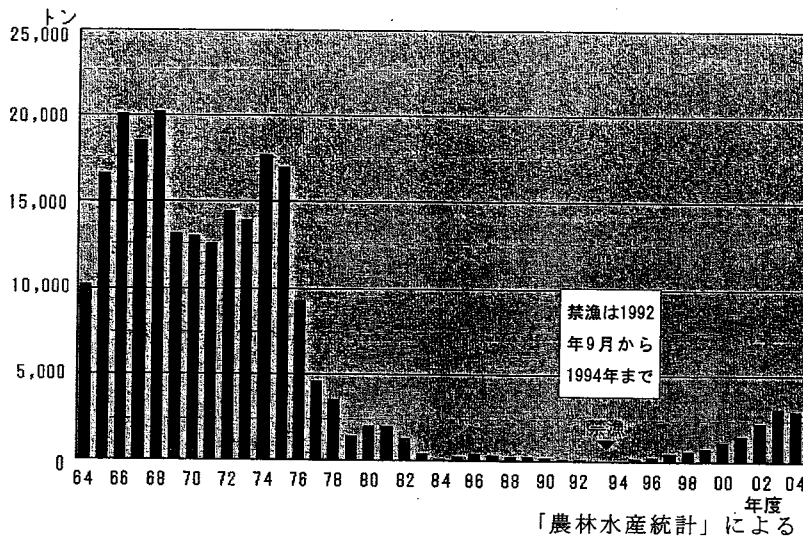
□  
13)

- ⑬ ③の地点は、すなやどろの中間でした。やはり、小さなあながたくさん目にとまります。ほつて出てきたのは、チゴガニでした。このカニは、甲のはば一センチメートルくらいで、日本の干潟にはどこでもいるものです。
- ⑭ チゴガニは、食事を終えると、足をふんばって立ち上がり、両方のはきみを上下にふり動かしてダンスをします。一分間に約三十回もはきみを動かします。たくさんチゴガニが調子を合わせてダンスをしているところは、なかなかおもしろいながめです。
- ⑮ チゴガニも、コメツキガニと同じように、すなだんごを作ります。食事をしながら、せつせと干潟をきれいにしているわけです。
- ⑯ ④の地点は、干潟の東側、水路ぎわにきれいな所です。
- ⑰ プチプチ、プチプチプチ……。くいの根もとを観察していると、近くからこんな音が聞こえてきました。すな地の表面にたくさん開いている細かいあなは、アシナガゴカイのすみかです。巣あなが体を出して、すな地の表面に付いたものを、せつせと食べているところでした。プチプチという音は、アシナガゴカイのたくましい食事の音だったのです。わたしは感心しながら聞いていました。
- (国松俊英『谷津干潟の生き物たち』による)
- 【注】  
 ※しぎ：シギ科の鳥。越冬のために南にわたる。  
 ※千鳥：チドリ科の鳥。多くの種類がわたり鳥を行う。  
 ※ダイゼン、メダイチドリ：チドリ科に分類される鳥。

社会	領域	内容	評価規準	通し 番号	市 通過率	県 通過率	観点
小5		5年目標(3)	・漁獲量のグラフの変化の様子や傾向を適切に読み取っている。	14)	54.1	53.0	技能・表現
小5		5年目標(3)	・漁獲量のグラフから増減の割合について適切に読み取っている。	15)	58.5	57.0	技能・表現

8 さち子さんのクラスでは、秋田県のハタハタ<sup>りょう</sup>漁について調べました。資料を見て、(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料 秋田産ハタハタの漁<sup>ぎよ</sup>かく量の変化



※年度は、1964～2004年度

※「禁漁」とは魚をとることを禁止すること

(1) さち子さんは、上のグラフから読み取ったことを次のようにノートに書きました。ノートの文中(①)、(②)にあてはまる正しい語句を、ア～エからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を書きなさい。

ノート

- ・漁かく量が1976年ごろから急にへりはじめ、(①)ごろからしばらくの間、1,000トンにも満たなかった。
- ・禁漁したあとの1995年から、また少しずつ漁かく量がふえてきた。
- ・1976年の漁かく量は、1966年の約(②)にへっている。
- ・漁かく量が急にへったのは、たぶんとりすぎが原因だろう。

①にあてはまるもの

ア 1978      イ 1980      ウ 1984      エ 1996

(14)

②にあてはまるもの

ア 2分の1      イ 3分の1      ウ 7分の1      エ 15分の1

(15)

算数	領域	内容	評価規準	通し 番号	市 通過率	県 通過率	観点
小5	A数と計算	5年(2)アイウ 小数の乗法と除法	・小数の除法が用いられる場面を理解している。	12)	58.2	51.5	知識・理解
小5	C図形	新5年(1)アイウ 平面図形の性質	・合同な三角形をかくための条件を考察できる。	13)	51.9	44.9	考え方

10 答えが  $30 \div 0.6$  の式で求められる問題を、次のア～エの中から1つ選んで、その記号を  の中に書きましょう。

ア 1 mの代金が30円のはり金があります。このはり金0.6 mの代金はいくらですか。

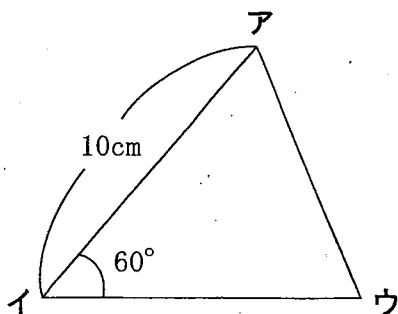
イ 30 mの白いロープがあります。黒いロープの長さは、白いロープの長さの0.6倍です。黒いロープの長さは何mになりますか。

ウ 30 kgの米を0.6 kgのふくろに入れます。全体の重さは何kgになりますか。

エ 青いリボンの長さは30 cmです。青いリボンの長さは、赤いリボンの長さの0.6倍です。赤いリボンの長さは何cmですか。

(12)

11 次の図の、三角形アイウと合同な三角形をかきます。辺アイの長さは1.0 cm、角イの大きさは $60^\circ$ です。このほかに、あと1か所、辺の長さや角の大きさが分かれば合同な三角形をかくことができます。たけしさんは辺の長さを考え、ゆきさんは角の大きさを考えました。ゆきさんの考えが正しくなるように、たけしさんの書き方にならって  の中に書きましょう。



たけしさんの考え

三角形アイウと合同な三角形をかくためには、あと1か所、辺イウの長さがわかればかけます。

ゆきさんの考え

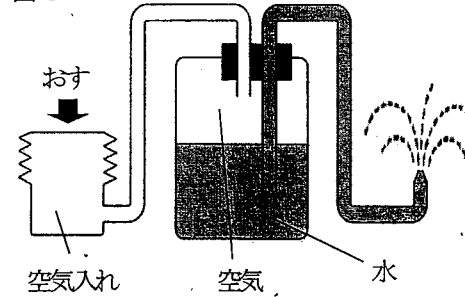
三角形アイウと合同な三角形をかくためには、

理科	領域	内容	評価規準	通し 番号	市 通過率	県 通過率	観点
小5	物質とエネルギー	4年 (1)イ	・空気や水のかさや押し返す力の変化によって起こる現象とそれぞれの現象を関係付けて考えることができる。	2)	61.5	53.3	科学的な思考

(2) 空気と水のせいしつ<sup>りょう</sup>を利用して、図3のようなふん水を作りました。空気や水のどのようなせいしつ<sup>りょう</sup>を利用していますか。正しいものを次のア～エから1つ選んで、の中に記号を書きなさい。

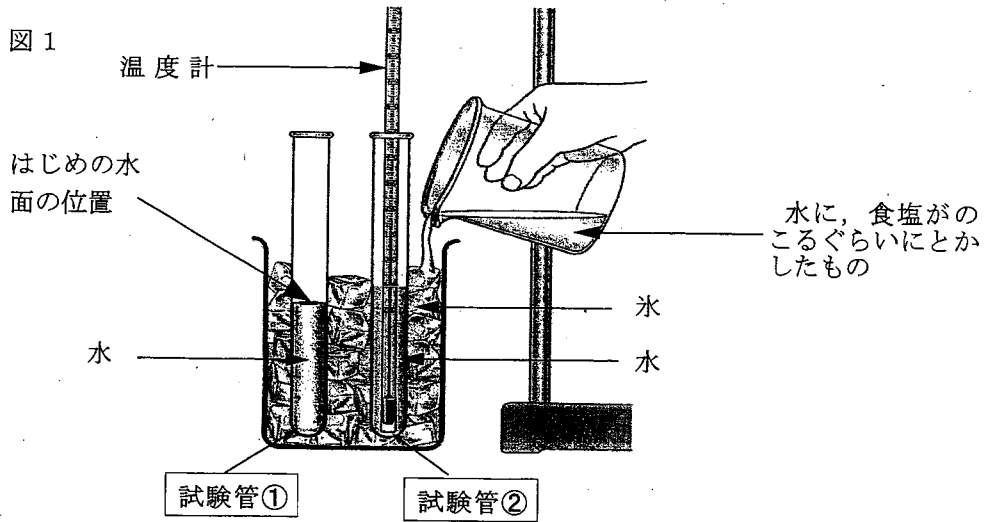
- ア 空気は、おされると体積<sup>たいせき</sup>（かさ）が大きくなり、押し返す力も大きくなる。水は、おされても体積（かさ）は変わらない。
- イ 水は、おされると体積（かさ）が大きくなり、押し返す力も大きくなる。空気は、おされても体積（かさ）は変わらない。
- ウ 空気は、おされると体積（かさ）が小さくなり、押し返す力が大きくなる。水は、おされても体積（かさ）は変わらない。
- エ 水は、おされると体積（かさ）が小さくなり、押し返す力が大きくなる。空気は、おされても体積（かさ）は変わらない。

図3

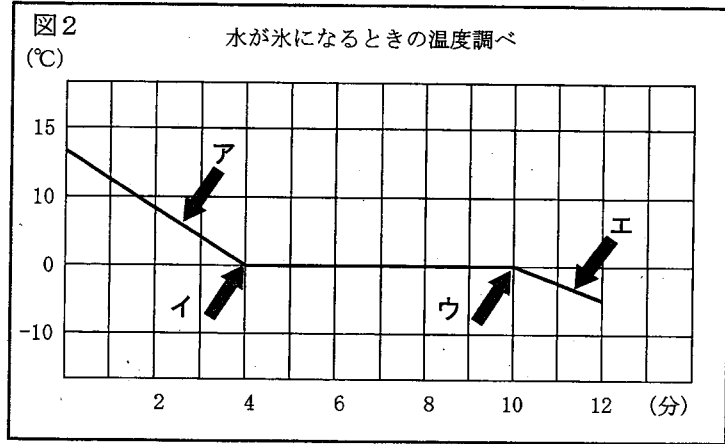

 (2)

理科	領域	内容	評価規準	通し番号	市通過率	県通過率	観点
小5	C地球と宇宙	4年(2)ア	・水の状態変化を調べ、記録したり、表やグラフなどに表したりすることができる。	9)	61.2	51.2	技能・表現

5 図1のようにして、水が氷になるときの温度と体積(かさ)の変わり方について調べました。次の(1)、(2)の間に答えなさい。



(1) 図1の試験管②の水が全部こおったのは、図2のグラフのア～エのどのときですか。□の中に記号を書きなさい。



□ (9)